

## 藺浦外務副大臣 冒頭発言内容

- 本日は、お忙しいところ「ジャパン・ハウス有識者諮問会議」にご出席頂き感謝申し上げます。
- 前回の会議後、2月21日にはジャパン・ハウスに関する企業向けの説明会を開催、また先週末には、様々な分野の有識者の方々にご登壇頂き、ジャパン・ハウス・フォーラムを表参道ヒルズにて開催、300名以上の参加者を得ることができました。日本国内におけるジャパン・ハウスに対する機運、関心が高まっていることを実際に目にし、非常に心強く感じております。これらイベントの詳細については、後ほど担当室長よりご説明申し上げます。
- 本日の有識者諮問会議については、開館が近づいているサンパウロについて進めていきたいと思っております。現地事務局より参加を得ている5名の方をこの場で紹介させていただきます。
  - －アンジェラ・平田館長兼事務局長
  - －マルセロ・ダントス企画局長
  - －ギジェルモ・ムロ事業総括
  - －ラウラ・ミン事務局長補佐
  - －クラウディオ・クリタ運営本部統括マネージャー
- サンパウロのジャパン・ハウスについては、電通が受託企業となり、本日お越し頂いている事務局を中心として、現在まで開館準備を進めてきております。開館は、本年GW中を予定しております。
- 開館においては、日・ブラジル両国から政府ハイレベルや文化人等の参加を得て、ジャパン・ハウス・サンパウロの開館を日ブラジル一体となって盛り上げるイベントを開催する予定です。現在事務局が鋭意企画を進めているところです。
- ロンドン、ロサンゼルスについても、開館が近づいてきたタイミングで改めてこのような場を設定し、皆様にご説明することとしたいと考えております。
- サンパウロのジャパン・ハウスが、知日派・親日派の裾野の一層の拡大という目的を達成できるよう、限られた時間ではあるが、様々な分野をご専門とされる有識者諮問委員の皆様から忌憚のないご意見をいただければ幸いに存じます。

(了)